

精華町教育委員会議事録

令和3年（第6回）

1 開 会 令和3年6月22日(火) 午後2時30分
閉 会 令和3年6月22日(火) 午後3時05分

2 出席委員 川村教育長 新司委員 高岡委員 松下委員
井上委員

3 欠席委員 なし

4 出席事務局職員

浦本教育部長

杉本総括指導主事

俵谷学校教育課長

田原生涯学習課長

平井学校教育課係長

5 傍聴者 1名

6 議事の概要

(1) 開会及び冒頭あいさつ

教育長から第6回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回議事録について

教育部長から令和3年第5回教育委員会の議事録について説明。

【採 決】

・全員承認

(3) 教育長報告事項

6月21日から緊急事態宣言が解除され、まん延防止措置が取られている。
6月17日、町内小学校で1名の児童が感染したため当該小学校を木曜日午後から金曜日にかけて休業としたが、他の感染者はなく、土日を挟んで月曜日からは再開した。

高齢者のワクチン接種が進む中、一部予約の空きを埋める形で町内在住の教職員の接種も行っている。

6月19日土曜日、精華町少年少女合唱団の定期演奏会及び令和2年度卒団式をかしのき苑で開催した。開催にあたっては、保護者のみの参加とし、感染対策を徹底。卒団生は6名だったが、最後の発表の機会に感激の涙も見られた。今年度からは新たに栢森和重氏を迎え、指導いただいているところであり、歌声は大変美しいものだった。

昨年度末、中学校の社会科、歴史的分野において1社の教科書が新たに検定に合格したため、昨年度山城採択地区協議会の議論を経て採択し、本年度から使用している教科書と比較する形で検討し、本年度改めて採択を行うこととなっている。7月に採択地区協議会の会議がある。その結果により8月の教育委員会で決議を行う予定。

(4) 事務局からの諸報告

教育部長 1 新型コロナウイルス感染症の対応状況

6月18日に開催された京都府の対策本部会議において、

- 1 京都府、大阪府、兵庫県の3府県で感染者数が減少
- 2 感染者数の減少は全ての年齢層において見られる
- 3 感染経路としては同居家族、職場の割合が高い
- 4 会食によるクラスター発生が目立つ
- 5 高度重症者は減少
- 6 繁華街の人流は横ばい、又は少し減少

知事からは、感染者は減少傾向にあるが、今後も気を緩めずに感染防止対策に努めるよう指示があった。

町内の小中学校においては、これまで京都府教育委員会からの通知に準拠した対応をとっているが、今後、中学校の部活動については段階的に緩和する方向性が示されている。

精華町では、6月に入って町内の新規感染者数が4名のみと大きく減少している。

しかし、6月17日に町内の小学校で感染児童が発生したため、17日午後と翌18日を臨時休校にするという状況となった。保健所の疫学調査の結果、濃厚接触者はいなかったが、念のためにPCR検査を実施したところ、児童全員が陰性であることが確認でき、また、校内の入念な消毒作業を行

ったうえで、21日から登校を再開した。

精華町の65歳以上のワクチン接種は、少なくとも1回は接種をされた高齢者の割合が81.6%になっている。国が掲げる高齢者の7月中接種完了という目標についても達成できる見通し。

なお、7月に入ると暑さが厳しくなるため、7月25日に2回目の接種を受けられる方の接種会場は、むくのきセンター、かしのき苑など空調設備の整った会場を予定している。

今後は、60歳から64歳の基礎疾患がある方々に対象が拡がるとともに、町内の小中学校で勤務する職員や教員でワクチン接種を希望する者の接種も既に始まっており、順次進んでいくこととなる。

教育部長 2 令和3年度精華町議会定例会6月会議について

町議会議員選挙後初の定例会議は、会期は6月14日から7月2日までの19日間。議案関係では補正予算関係で2件、特に議案第24号の一般会計補正予算(第2号)については、移動図書館車の更新事業を計上していることから議案質疑の場でも複数の議員から質疑があった。

また、一般質問では18名の議員のうち15名の議員から質問の通告があり、教育委員会関係では7名の議員から、生理の貧困、中学校給食、ヤングケアラーや少人数学級、子どものICT教育、通学路の安全対策などの質問があった。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

5月の問題事象はなし。不登校は3名、全欠は1名。

(2) 中学校

5月の問題事象はなし。不登校は29名、全欠は5名。不登校の増加は、4月は頑張って登校したが疲れが出てきている状況とのこと。今後も家庭との連携を取りながら引き続き注視していく。

総括指導主事 2 重災害事故報告について

学校管理下以外の事象で、塾へ向かう途中に自転車で転倒してしまった。2日入院し、現在は元気に学校に通っている。

総括指導主事 3 相楽地方中学校陸上競技大会の結果について

6月3日、太陽が丘陸上競技場で行われた。5位までの入賞者は6月19日の山城地方大会に出場して大変健闘し、女子3年生100mでは優勝、男子の低学年リレーも優勝という成績を残した。

7月下旬に行われる府大会には、男子で8種目、女子で4種目出場予定。

総括指導主事 4 令和3年度の京都府学力診断テストの結果について

4月に実施した上記テストの結果を速報値で報告。

令和2年度は実施がなかったため令和元年度の結果と比較すると、令和元年度と同様、小学4年生の算数がわずかに府の平均を下回る。

経年比較で見ると、国語は府の平均を上回っているが、指数的にはこれまでと比べると低い傾向にあり、下方傾向は否めないと考えている。算数は、年によってばらつきがあるが、全体的には低い傾向にある。

なお、この結果は精華町全体での平均であるため、各学校で分析をし、授業改善や個別の対応等が必要であると考えます。

京都府平均を100として、中学校1年生の国語の指数は104.8、数学の指数は104.4であるが、この学年が小学校4年生時に受けたテストでは国語は102.2、算数で101.9だった。今回のテストで国語は2.6ポイント、数学は2.5ポイント上昇しており、4年生から6年生の間に学校で丁寧な指導がなされた結果だと考えられる。この結果を各学校と共有し、学力の向上に生かしていく必要がある。

生涯学習課長 1 令和3年度京都府社会教育委員連絡協議会表彰について

6月25日に京都府社会教育委員連絡協議会の総会で社会教育委員の尾崎麻由美委員が表彰される。社会教育委員として平成26年4月から7年間在任され、社会教育の諸分野での積極的な活動とその功績が顕著であると認められたもの。

生涯学習課長 2 特定非営利活動法人精華町体育協会の名称変更について

令和3年6月から精華町体育協会が精華町スポーツ協会に名称を変更されることとなった。会長は変更なし。

平成30年に日本体育協会並びに京都府体育協会がスポーツ協会へと名称変更されたことに合わせたもの。同協会の令和2年度臨時総会での決定事項である。

スポーツという言葉が多用化され、健康維持のための運動やスポーツ全般、全ての概念を体育ではなくスポーツという言葉で表すことが一般的になってきたことから、このような動きとなった。

井上委員 コロナ禍にあって、一般企業の労働者であれば出社7割削減、自宅でリモートワークになっている中で、教職員は緊急事態宣言中でも普段どおりの職務が求められている。学校では毎日3密の状態の中に教師がおり、子どものためとはいえ、教職員の労働条件は非常に劣悪。医療従事者に次いでワクチン接種を優先されるべき職種だと思うが、現時点でそうっていない。このような中、精華町では教職員の希望者に順次接種を進めていく予定であることを評価したい。

教育部長 今後も町長部局とも連携しながら、いわゆる大規模接種や高齢者接種の空き予約枠も活用しながら、希望者にはスムーズに接種を受けてもらえるよう進めていきたい。

また、井上委員ご指摘の学校現場における密の状況は、な

かなか解決が難しい課題と考えている。緊急事態措置からまん延防止等重点措置には切り替わったが、ここで取組を緩めることなく、感染者が出ないように、現場でも様々な工夫を行いながら学校活動を継続している。

今回中学校の部活動が少し緩和されたが、感染対策については緩むことがないように、十分な配慮を行っていきたい。「大会でいい成績を上げたい」という子どもたちの気持ちもあるが、大きなけがが起こらぬよう、大会に備えて十分なトレーニングを積んでもらうということで、学校現場と引き続き連携を取っていく。

(5) 後援関係

5月から6月にかけて受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数6件、学校教育課関係が0件、生涯学習課関係が6件で、生涯学習課関係の内訳は、社会教育係が6件、社会体育係が0件、図書係は0件である。

(6) 7月の行事予定

教育部長から7月の行事予定について説明。

(7) 閉会

教育長が第6回教育委員会の閉会を宣言。